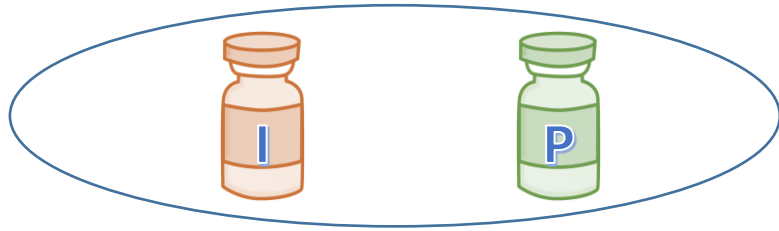


IP療法を 受けられる患者様へ

IP療法について

IP療法とは、イリノテカン(I)とシスプラチン(P)という
違う作用の抗がん剤を組み合わせる治療です。



投与スケジュール 今日 (/) は サイクル 日目

1日目は2種類、8日目と15日目はイリノテカンのみ投与します。
28日間を一区切り(1コース)とします。

抗がん剤 投与 1日目	休薬 6日間	抗がん剤 投与 8日目	休薬 6日間	抗がん剤 投与 15日目	休薬 13日間
-------------------	-----------	-------------------	-----------	--------------------	------------

1コース目

ここに示したスケジュールは参考であり、
患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

点滴で投与する薬について

生理食塩液
カリウム、マグネシウム

腎臓への障害を予防します。
60分かけて投与します。

デキサメタゾン*
パロノセトロン*

吐き気止めのお薬です。
15分かけて投与します。

イリノテカン*
(mg)

抗がん剤です。
90分かけて投与します。

シスプラチン
(mg)

抗がん剤です。
60分かけて投与します。

フロセミド
生理食塩液

利尿剤です。
腎臓への障害を予防します。
60分かけて投与します。

生理食塩液*

お薬を洗い流します。
5分かけて投与します。

8日目と15日目は*印のお薬を投与します。

副作用について

自覚できる副作用

アレルギー反応
急性嘔吐 下痢

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

遅発性嘔吐
食欲不振
便秘 倦怠感

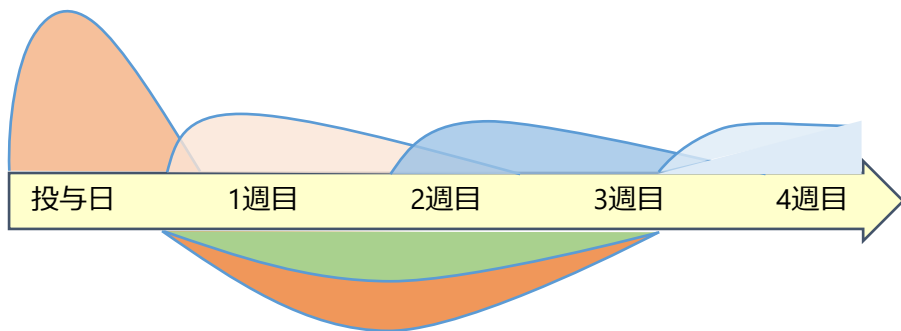
気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。

口内炎 下痢

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

脱毛 下痢
味覚の変化 咳

髪の毛は、治療終了後半年くらいで再び生えてきます。



自覚できない副作用

肝障害 腎障害

白血球減少
血小板減少

感染予防のため、手洗いをこまめにしっかり行いましょう。38℃以上の発熱がある場合は病院に連絡をして下さい。

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。

内服薬について

1日目	2日目	3日目	4日目

吐き気止めのお薬です。吐き気が無くても服用してください。